

# 郷土発展に気持ち新た

## 130年の歩み祝い記念式典

### 米沢有為会

公益社団法人米沢有為会（大滝則忠会長）の創立130周年記念式典が22日、米沢市中央一丁目の東京第一ホテル米沢で開かれた。これまでの歩みを振り返り、置賜地域発展に向け気持ちを新たにしたい。

式には、名誉会長で上杉家17代当主の上杉邦憲氏をはじめ関係者ら約80人が出席。大滝会長が会の歴史を紐解きながら「戦禍を含む数々の困難を乗り越え、育英団体として発展することができた。刻々と変化する社会環境に対応しながら置賜若人の夢を支援し、置賜の教育、文化、産業等の振興に貢献できるように前進していきたい」と決意を述べた。

来賓を代表し、中川勝市長が「育英事業を通して多くの若者が夢と希望を実現してきた。設立当初から志を継承してきた先人たちに敬意を表するとともに、ますますの発展を願っている」などと祝辞を述べた。式終了後、産業やスポーツ、文化で功績をあげた個人・団体に表彰状を贈呈した。有限責任監査法人トーマツマネジャーの対木さおりさんが「日本の中長期的な課題と置賜地区の将来、郷里が形作る過去、現在。そして未来へ」と題して講演した。

式には、名誉会長で上杉家17代当主の上杉邦憲氏をはじめ関係者ら約80人が出席。大滝会長が会の歴史を紐解きながら「戦禍を含む数々の困難を乗り越え、育英団体として発展することができた。刻々と変化する社会環境に対応しながら置賜若人の夢を支援し、置賜の教育、文化、産業等の振興に貢献できるように前進していきたい」と決意を述べた。

2019年(令和元年)6月23日(日曜日)

# 米澤新聞

発行所  
米澤新聞社  
米沢市門東町3丁目3番7号  
電話0238-22-4411  
郵便振替口座 山形8-2719  
©米澤新聞社 2019

米沢有為会は、東京などで勉学に励む青年たちの支援と、郷土の振興に取り組む公益財

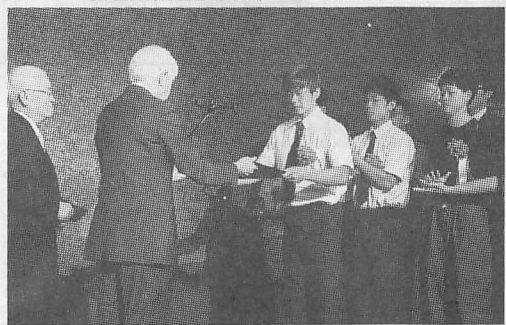
団法人。東京と仙台の学生寮運営や奨学金、我妻榮記念館の運営などに取り組んでいる。明治22（1889）年、米沢市出身の建築家で名誉市民の伊東忠太ら在京学生6人が設立。今年4月末現在、全国に1千人余の会員がいる。受賞者は次の通り。

### 若人フォーラム開催へ 米沢有為会の定時総会

米沢有為会（大滝則忠会長）の定時総会が22日、東京第一ホテル



創立130周年を祝った記念式典⑥、昨年度各分野で活躍した人々を表彰した⑦



（敬称略、所属・学年は昨年度当時）  
【産業功労】Ⅱ内藤文徳  
【特別顕彰】スポーツ活動▽優秀賞Ⅱ中嶋丈大（川西中3年）、鈴木永遠（同）、小林一成（同）、亀井美子（長井北中3年）  
▽奨励賞Ⅱ設楽奏大（六郷小2年）、川西中男子ホッケー部、鈴木爽元（米沢工業2年）、

高橋夢華（九里学園1年）、長沼明音（九里学園3年）  
文化活動▽優秀賞Ⅱ五十嵐優花（高島屋代小5年）▽奨励賞Ⅱ長井南中吹奏楽部  
また、例年と同様に▽大学生や大学院生を対象とした奨学金の貸与▽東京興譲館寮や仙台興譲館寮など学生寄宿舎の運営▽我妻榮記念館の運営―などにも取り組む。  
役員改選に伴う、理事、監事は次の通り。（敬称略）【理事】伊藤和夫、大滝則忠（会長）、加藤国雄、甲國信、川合勝雄、五雲寺卓、鈴木幸一、鈴木信之、種村信次、手塚宮雄、平山英三（副会長）、宮坂孝夫、菊地隆雄（新任）、武田篤（新任）【監事】伊藤秀太郎、菅野憲幸